

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

建築士 渡邊正之
市政資料館 第4集会室

2023年5月20日(土) 14:00

どうする
名古屋城

“はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか”



建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

建築士 渡邊正之

建築士が読み解くシリーズ

- 第1弾 「幻」の名古屋城現天守耐震改修案の存在。
無視されお蔵入り。死蔵化した調査報告書の存在を明かす。
現天守の有用性を確認。
- 第2弾 2万人アンケートは民意か？
民意を木造化賛成に設問誘導・捏造を明かす。
- 第3弾 課題調査検討会報告書を読む
名古屋城整備に関する60年余の課題検討報告書の語る事柄。
“議論を尽くす必要がある。”の結語の行方は？。
- 第4弾 **木造天守整備基本計画書(案)**
“はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか”
木造化及び史実忠実と現行法整備との矛盾と実現不可能を指摘。

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

“はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか”



その前に

「史実忠実な木造天守」は出来るのでしょうか？。

そりゃー出来ますよ。
人を入れなきゃね。

但し

「現行法の法整備(バリアフリー等)」
高いハードルを乗り越える必要が有ります。

・
乗り越えられるのか
乗り越えてはいけないのか



その**観点**で

採点してみました。

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

回答の全てが「0点!!」の謎。



河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」



河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」は何に？。
史実忠実な木造天守を造るには「どんな事を成せば」を示すのが目的ではないのですか？。

4 項目(①~④)に分類して評価します。

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」は何に？。
史実忠実な木造天守を造るには「どんな事を成せば」を示すのが目的ではないのですか？。

4項目(①~④)に分類して評価します。

- ①バリアフリー化対策
- ・ 観覧者を入れる事が必要不可欠。
 - ・ 観覧者の安全対策、バリアフリーを含めた→ 観覧環境の整備を併せ行う。
 - ・ 史実忠実復元にバリアフリー化を最大配慮する。
 - ・ 避難経路が小天守経由に限られる。

→ 「バリアー」と「バリアフリー」は矛盾。解決不能。

//

→ 穴蔵階~1階(単707-間)のみの昇降設備は

全館バリアフリー化に至らず。

→ 大天守「口御門~避難階(御殿北内苑)」までの

避難ルート(スロープにて)確保は不十分。



評価：近代設備設置に史実忠実を逸脱



河村市長:

「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

②構造計画&安全性確保

- ・天守入側部を石垣で支持しない構造とする。
- 天守入側部の構造及び石垣内部改変を伴う。
- 補強に伴う**構造改変発生**。

史実が不明？。

石垣内部構造再建時に攪乱記録消失

- ①石垣裏込め・地山構築変更
- ②穴蔵石垣構造変更

入側部の荷重を
中央部へ転化

石垣

石垣の支持力不明



河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。

②構造計画&安全性確保 ・天守入側部を石垣で支持しない構造とする。
→天守入側部の構造及び石垣内部改変を伴う。

史実が不明？。

石垣内部構造再建時に攪乱記録消失

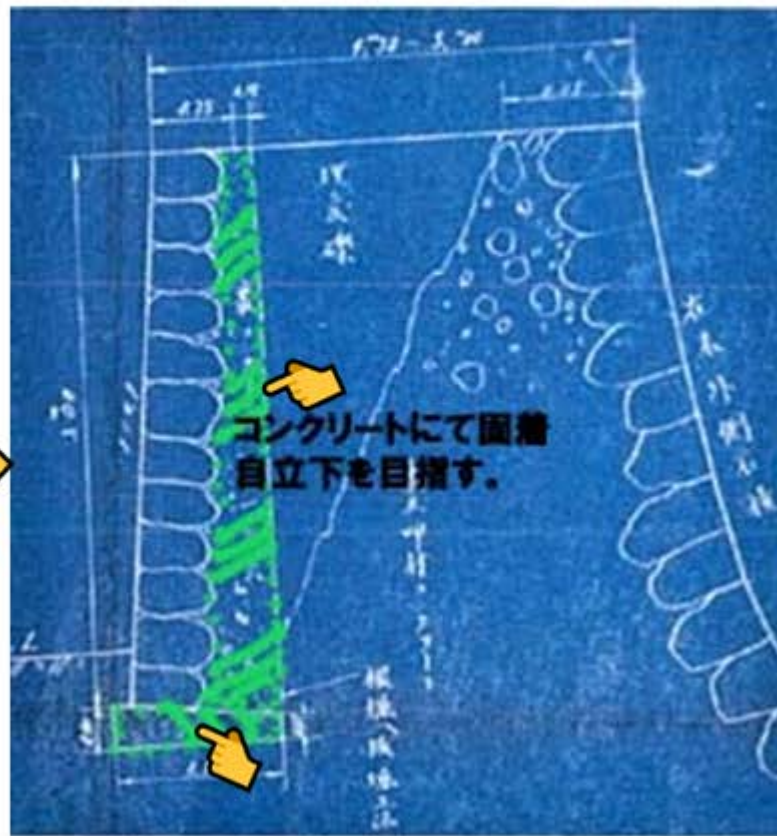
①石垣裏込め・地山構築変更

②穴蔵石垣構造変更

※焼失後昭和再建時の計画図



計画図②：史実に近似／伝統工法に疑問



計画図①：穴蔵石垣を自立化

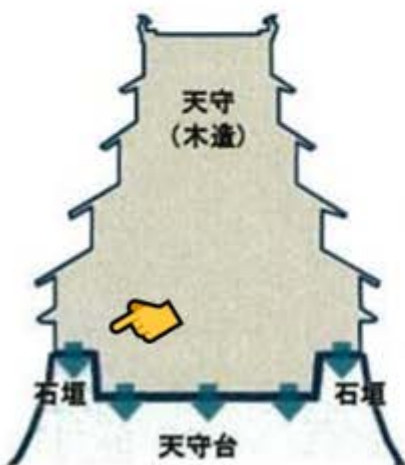
河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

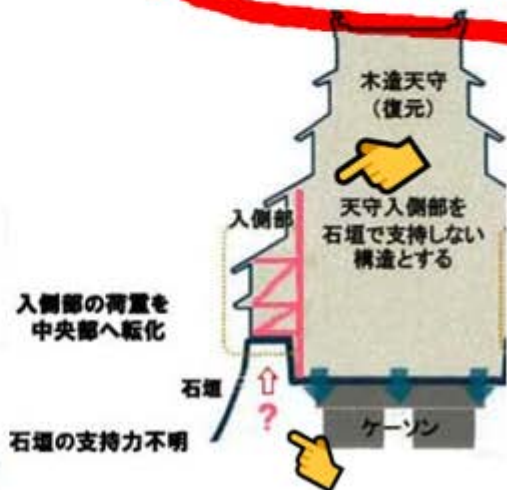
4項目(①~④)に分類して評価します。

②構造計画&安全性確保 ・天守入側部を石垣で支持しない構造とする。

→天守入側部の構造及び石垣内部改変を伴う。



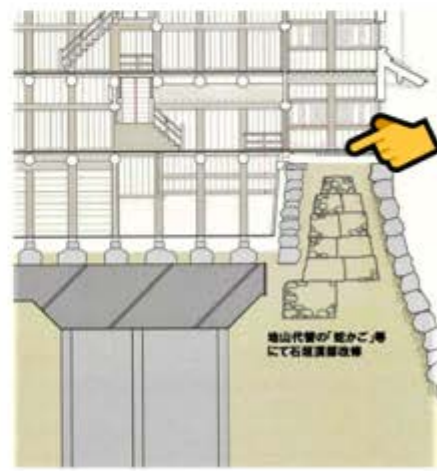
●消失前の関係図
【史実】



●天守入側部の構造変更
【史実逸脱】



●入側部支持の基礎構造体補追
【史実逸脱】



●石垣頂部の改修/蛇籠採用
例：熊本城【史実逸脱】

蛇足ながら
「熊本城の復旧工事を参考に。」



SRC造天守閣を残したままの復旧工事
地震被災は石垣頂部が崩壊(写真左)。

調査を兼ね地盤レベル迄解体、積み直し(写真右)。

調査を兼ね地盤レベル迄地山を含む石垣解体、積み直し
工程に
穴蔵階/SRC造躯体構造が裸状態

蛇足ながら
「熊本城の復旧工事を参考に。」



自立形の石垣頂部



補強(地山代替)の為に蛇籠設置



地山代替の蛇かご

石垣復旧モデル／地山代替の蛇籠配置を示す

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

4項目(①~④)に分類して評価します。

②構造計画&安全性確保

- ・ 建基法同等の構造安全性を有するものとし
建基法第3条を適用する。
- ・ 天守入側部を石垣で支持しない構造とする。
- ・ 耐震性能を満足して居ない事が判明。
- ・ 耐震用に壁内ダンパー設置が必要。

→書類制度上は合法なれど、**実質違法建築物**と成る。

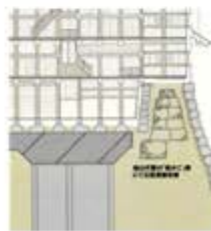
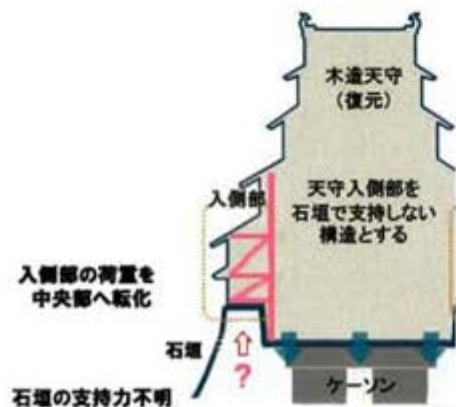
→**天守入側部の構造及び石垣内部改変を伴う。**

→工学的強度数値化の**把握困難**。

→補強に伴う**構造改変発生**。



評価：史実忠実に逸脱



河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

4項目(①~④)に分類して評価します。

③ 建築材料工法変更 ・ 建築材料・工法の仕様変更。

→ 屋根下地防水対策に仕様変更を行う。

評価：史実忠実に逸脱

3

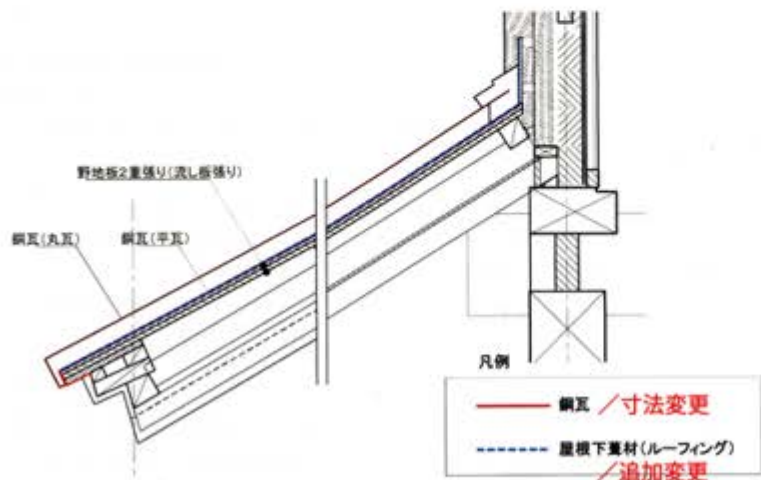


図-8.1.2 銅瓦葺き 断面図

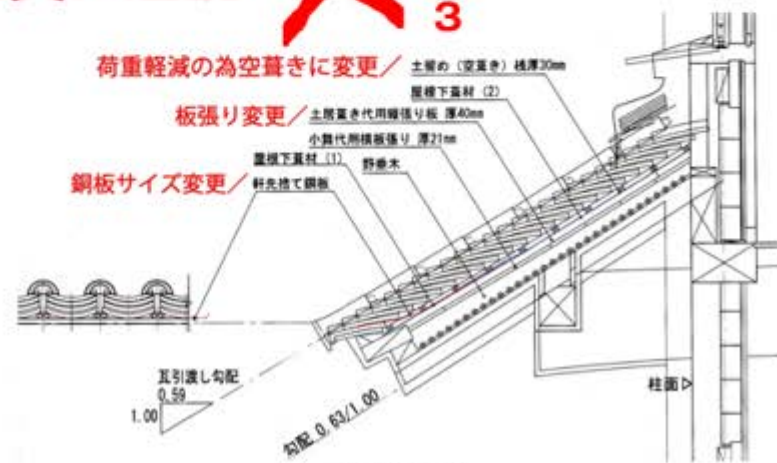


図-8.1.1 大天守初葺断面図

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

4項目(①～④)に分類して評価します。

④防災避難計画

- ・ 防災・消防設備付加
＜屋内消火栓・煙感知器・スプリンクラー・消火器設置＞
- ・ 防煙の為の感知器連動の自閉建具設置
- ・ 救助袋式避難ハッチ設置。
- ・ 二方向避難用に階段追加設置。

→近代設備設置にて史実忠実に逸脱。

→

”

- 下階(発煙空間)への二方向避難経路として不適切。
- 追加階段の設置は史実忠実に逸脱。



評価：史実でない施設追加の忠実逸脱・不適切

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

4項目(①~④)に分類して評価します。

④防災避難計画

・防災・消防設備付加

<屋内消火栓・煙感知器・スプリンクラー・消火器設置>

→近代設備設置にて史実忠実に逸脱。



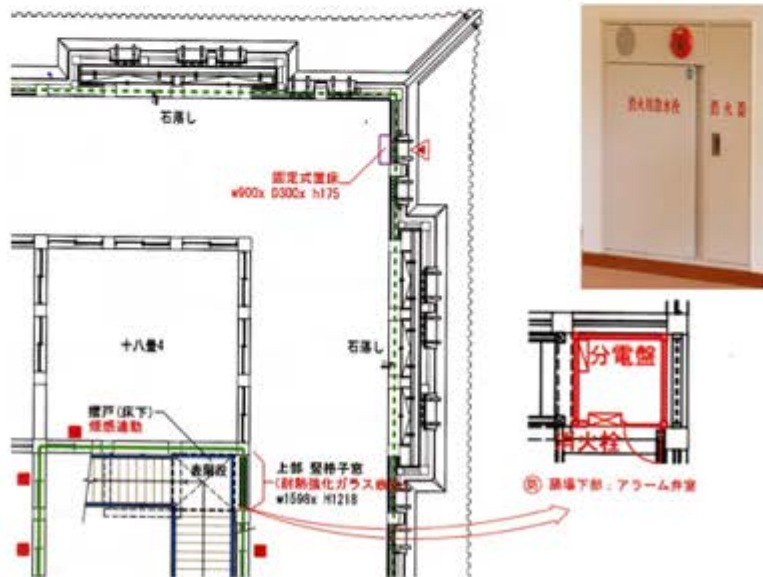
評価：史実にない施設追加の忠実逸脱・不適切

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

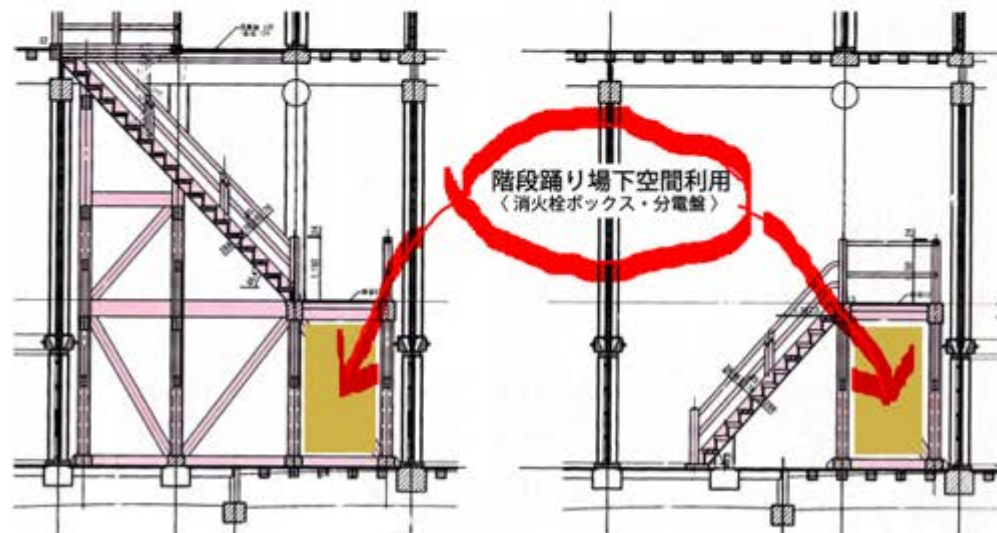
「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？。
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？。

4項目①～④に分類して評価します。

- ④防災避難計画 ・ 防災・消防設備付加
<屋内消火栓・煙感知器・スプリンクラー・消火器設置>



→近代設備・史実に無い階段設置 / 史実忠実に逸脱。



評価：史実でない施設追加の忠実逸脱・不適切

河村市長：
「史実忠実に些かも欠けては、やらん方がいい。(造る意味が無い)」

「木造天守整備基本計画書の目的」とは何ですか？
史実忠実な木造天守を造るには、どんな事を成せばを示すのが目的ではないのですか？

4項目①～④に分類して評価します。

④防災避難計画

・救助袋式避難ハッチ設置。

←避難対象階

避難先:

✓ 出火発煙危険エリア階

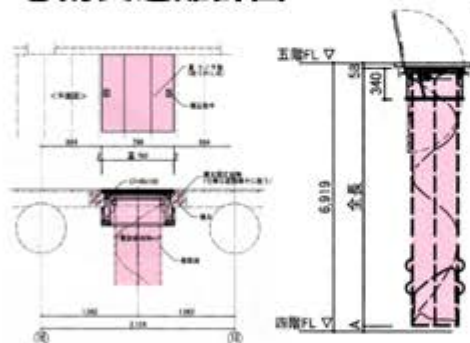
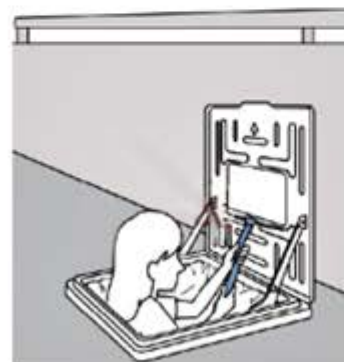


図-8.124 大天守5階 救助袋

・寸法Aは消防との協議による

※※極めつけ！！。/外部用を転用？。
→下階(発煙空間)への二方向避難経路として不適切。



評価：史実でない施設追加の忠実逸脱・不適切

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

回答の全てが **X** **「0点!!」** でした。
1~4
これでは「史実忠実」の意味を成しません。



建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか

これでは「史実忠実な復元」とは言えません。



建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

?

?

?

ここに来て、疑問が・・・??



「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

「史実忠実な木造天守」は不可能。

文脈から読み解くに

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのです。



「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする
名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのでした。

史実忠実な木造天守



+



サポート材(法整備等)

A 総体として史実忠実 → 逸脱／0点

史実忠実な木造天守



+



サポート材(法整備等)

B 史実忠実を成立させるサポート材併設。

市の考える基本計画書

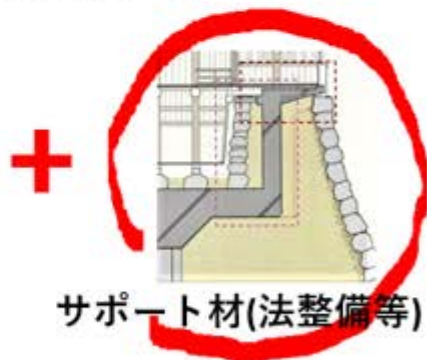
「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする
名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのでした。



史実忠実な木造天守



サポート材(法整備等)

この視点で、再検討を行うと
「史実忠実重点」ではなく「**現行法整備**」が
如何に整備達成されているのかの視点で評価
変更せねばなりません。

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

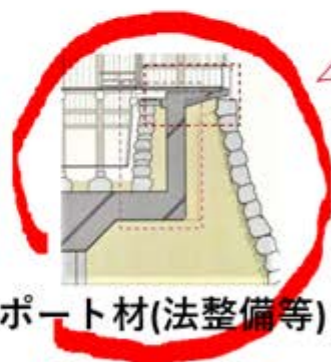
どうする 名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのです。

史実忠実な木造天守



+



サポート材(法整備等)

この視点で、再検討を行うと
「**4項目検証**」で指摘した「現行法
整備」が達成されているか、否かの視点
で評価すべきです。

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする
名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのでした。

史実忠実な木造天守



+



サポート材(法整備等)

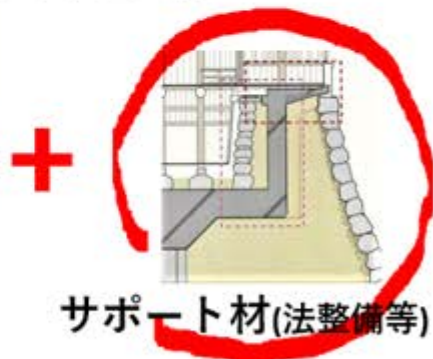
「4項目検証」の指摘事項

- バリアフリーの不完全。
- 基礎構造解明及び決定は発掘調査頼りの先送り未定。
- 消防避難設備の不完全。
- 博物館機能の放棄(別棟博物館構想に転嫁)。来場者拒否の建基法第3条の無責任な適用の不適切。

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

どうする 名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。



+



「**4項目検証**」の指摘事項

- **博物館機能の放棄**(別棟博物館構想に転嫁)。
来場者拒否の建基法第3条の無責任な適用
の不適切。

「史実忠実」に「現行法整備」を併設する形で検証。

どうする 名古屋城

< 現天守改修案の優れている訳は >

外装(ほぼ史実忠実)RC造外壁漆喰塗仕上げ (さわる必要性無し。)

内装に史実忠実仕上げを施す (大いに検討すべし。) ※

※ 内・外に連同させての表現部位を考えるに

「穴蔵明り取り」・「格子窓」・「石落とし」・その周辺の「隠し鉄砲狭間」のみ。

上記部分に豊富な史実資料を用いて内装仕上げを行う。

体験的内部空間(バリアー急勾配階段など)は適宜選択の上、史実忠実内装を行う。

安全安心の構造体(現行法整備)に「**史実忠実内装仕上げ**」を行うのが、適切ではないでしょうか。

「史実忠実」に「現行法整備」を併設する形で検証。

< 現天守閣内外装連動部位 >

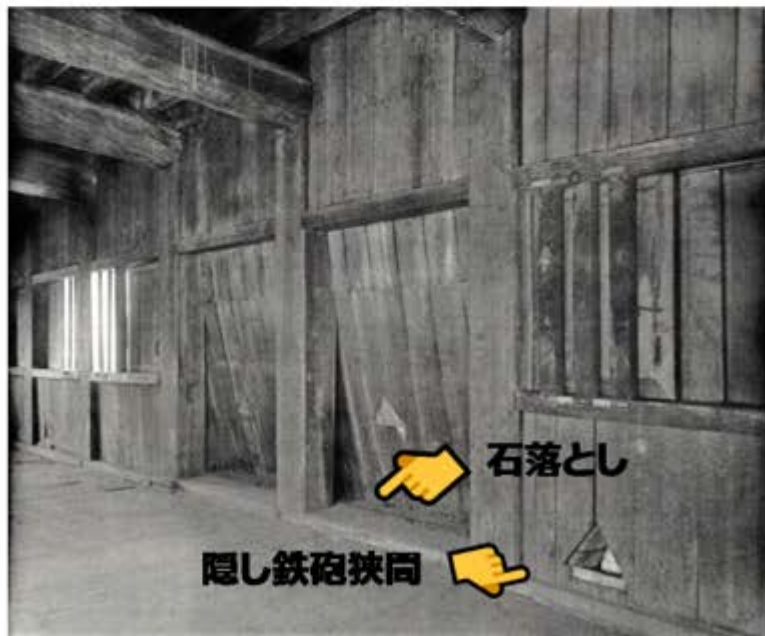
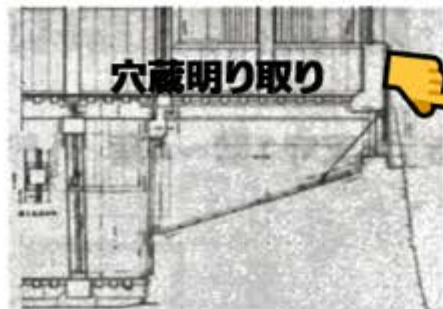
蛇足ながら、追加説明を致します。

※ 内・外に連動させての表現部位を考えるに

「穴蔵明り取り」・「格子窓」・「石落とし」・その周辺の「隠し鉄砲狭間」のみ。

上記部分に豊富な史実資料を用いて内装仕上げを行う。

どうする 名古屋城



「史実忠実」に「現行法整備」を併設する形で検証。

< 現天守閣の史実内装 >

蛇足ながら、追加説明を致します。

※ 体験的内部空間(バリアー急勾配階段など)・床面石落とし・床面明り取りなど
特徴的要素を選択、活用し、史実に忠実な内装を行う。

どうする 名古屋城



建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

迫られる選択
の時!!。



史実忠実な木造天守+別棟博物館

600億円

(積み残し・先送り事項多々あり)

現天守改修+おつり

50億円+(550億円)



どうする
名古屋城

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

① 今回のテーマ

“はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか”
についての答えは「**NO!**。そうとは言えません。」
否定せざるを得ない代物でした。

② 今回公表された「整備計画(案)」

「史実忠実な木造天守整備」と「現行法整備」の併設
についても、
基礎構造未定。調査後に委ね、
バリアフリー化も一部のみ。
現天守解体・新築木造化推進の「大義名分が無く、
説得力に欠ける」代物でした。

「戦後復興のシンボル」を失う事を意味します。

どうする
名古屋城

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

明日の名古屋を見据えて
賢明なる選択が迫られて居ます。
同時に
ここに辿り着いた「答＝提言」
如何に活かすのか

「戦後復興のシンボル」を失う事が無い様に。

どうする
名古屋城

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く



ここに辿り着いた「答＝提言」
を、如何に活かすか

「市井の建築家からの提案」
発想の転換> 全館バリアフリー達成！！。
の使い方も、考えて行きたいと存じます。

どうする
名古屋城

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

ご清聴ありがとうございました。ご質問などお聞かせください。

どうする
名古屋城